



(題字 小黒千足 学長)

第333号

(平成4年5月号)



▲ 新入生を迎え清新な活気がみなぎる構内
(新緑に学生サークルの新入生歓迎立看が映える)

目 次

学 内 諸 報

- ◆ 平成4年度富山大学入学式の挙行 3
- ◆ 名誉教授の称号記授与 5
- ◆ 紺綬褒章の伝達 7
- ◆ マレーシア工科大学副学長の来学 8
- ◆ 平成4年度「とやま賞」に理学部小松
助教授 9

人 事 異 動 9

学 事

- ◆ 平成4年度科学研究費補助金交付内定者
の決定 10
- ◆ 平成4年度入学生数一覧 14
- ◆ 平成3年度卒業生就職状況一覧 15

関 係 法 令 16

諸 会 議 17

学 内 規 則

- ◆ 富山大学学則の一部改正 18
- ◆ 富山大学事務組織規則の一部改正 21
- ◆ 富山大学事務分掌内規の一部改正 21
- ◆ 富山大学物品管理事務取扱細則の一部
改正 23
- ◆ 富山大学学則の一部改正 24
- ◆ 富山大学当直規則の一部改正 25

叙 勲 26

学 位 取 得 者 26

海 外 渡 航 者 26

職 員 消 息 27

お 知 ら せ 28

主 要 行 事 29



学生生活へ夢いっぱいの1,714名の入学

○ 平成4年度富山大学入学式を挙行 ○

— 平成4年4月10日(金) 富山市公会堂 —



平成4年度富山大学入学式が、平成4年4月10日(金)午前10時30分から富山市公会堂において挙行され、新入生が学生生活の第一歩を踏み出しました。

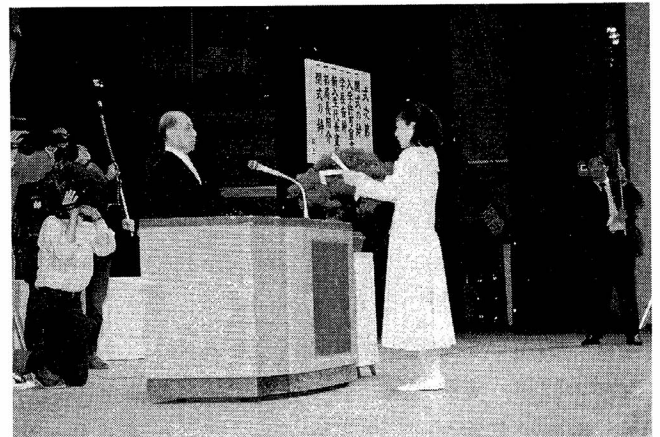
式では、まず小黒学長から、学部入学生1,544名、専攻科入学生1名、大学院入学生169名、合計1,714名(うち外国人留学生34名を含む。)の新入生に入学許可宣言がありました。

次いで、学長告辞で小黒学長は、「大学における教育は、高校までの教育と違い、高度の学問と研究に裏付けられていることを十分理解してほしい。また、大学に何を求め、何を期待して入学したかを改めて自分に問いただし、今後何をなすべきか熟慮し、それを実行してほしい。そうした大学教育で物事の本質を理解する態度と力を身につけることによって、激動する国内・国際情勢におのずと対処できることになる。」とこれからの大学生活の基本的な心構えと自覚を諭されました。

これに対して、新入生1,714名を代表して経済学部経済学科土井里恵さんが、「私達新入生一同は、在学中学則を守り、自己の研鑽に努め、心と体を鍛えるとともに、国際化時代に生きる者としての役割を自覚し、学識を深めるなかで豊かな国際感覚を身につけた人間となるよう努力します。」と力強く宣誓しました。

次いで、部局長紹介で、各学部長(研究科長)、教養部長、学生部長及び事務局長がそれぞれ紹介され、式を閉じました。

引き続き、本学合唱団が「富山大学歌」と「富山大学学生歌—新しき時代の息吹—」を合唱、ギター・マンドリンクラブがギター・マンドリン演奏で「チキチキバンバン」を、また、フィルハーモニー管弦楽団が「行進曲『威風堂々』第1番」の管弦楽演奏を行い、入学式に華を添えました。



▲ 新入生を代表して力強く宣誓する経済学部経済学科土井里恵さん



▲ 大学生活の第一歩を意気揚々と踏み出した新入生(当日は満開の桜の中あいにくの小雨模様となった)

入学式学長告辞（全文）



学 長 小黒 千足

本日入学を許可された諸君に全学の教職員を代表して、心からお祝いを申し上げます。また、この日を心待ちにしておられた父兄の皆様にも併せてお慶びを申し上げます。

苦しかった受験期がこれで終わり、これからは新しく大学生としての生活を送られることとなりますが、このときに当たり、思うことの一部を申し上げます。

まず、大学における教育と、諸君が高等学校までに受けた教育の違いは、何処にあるかを明らかにいたしたいと考えます。大学の教育は、高度の学問と研究に裏付けられたもので、これは非常に重要な意味を持っております。各々の先生は、それぞれの研究、情報、あるいは信ずるところに従って授業を行います。従って、大学では検定を受けて全国的に画一化された教科書は一切用いません。極端に言うならば、全国のどの大学の講義、実験も同一のものは全くありません。例え、講義の名称が同じであっても、内容は異なり、思想が違います。諸君はこの意味を十分に理解して、教室に臨まれることを希望いたします。

第二に、ここにおられる各自が、何を求め、何を期待して大学に入学したかを、改めて確認されることを強く望みます。勿論、それぞれ目的を持って入学されたことは疑いもありませんが、本日改めてそれを確認し、その目的のためには、今後何をすればよいのか、熟慮されるよう願います。入学に当たり、様々な希望や、計画を胸に秘めておられると思いますが、大切なことは決心することではなく、実行することであると言うことを忘れなければ、希望の半ばは叶えられると信じております。

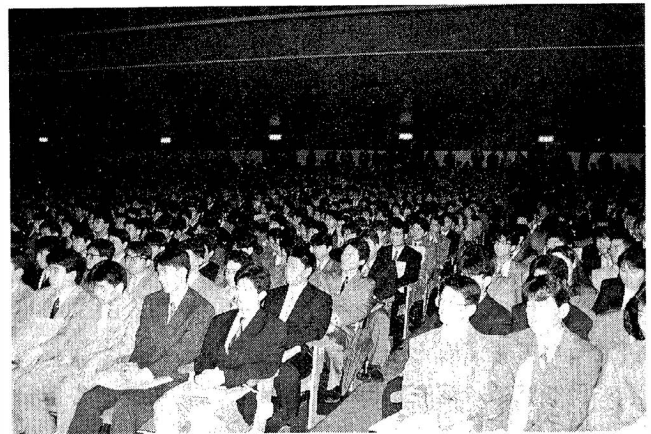
次に、大学教育の深遠な意味を説明いたします。よく御存知のように、最近の政治及び経済社会の情勢は国際的にも国内的にも、目まぐるしく変化しております。1年前の世界の情勢と現在と比較して、その変貌を考えたならば、更に1年後を予測するのは、甚だ困難と言わざるを得ません。まして、諸君が卒業する4年後を考えることは、ほとんど不可能であります。一方、諸君には卒業のときが間違いなく参りますし、そ

のときどのように対処するかで、その後の人生は変わります。

しかしながら、予測はできなくても、対処は可能であります。それは、諸君が大学で何を学び取るかにかかっております。大学で学ぶのは知識もあれば技術もあります。しかし、最も重要なことは、物事の本質を理解する態度と力であります。本質が理解されれば、おのずと対処の仕方は生まれて来ます。結論が唯一でないにしても、方向を間違えることはありません。諸君がどの学部に属し、何を専攻されようとも、大学でしか得られない教育の本質を見損なわないで学習されることを希望いたします。

最後になりましたが、本大学では、より良き教育を実施するために、不断の改善をして参りました。しかしながら、将来更に大きな改革を検討しております。諸君の理解と協力をお願いする次第であります。

ここに再度入学をお慶びし、充実した大学生活を送られることを願って、告辞を終わります。



▲ 学長告辞に聴き入る新入生



▲ 新入生を歓迎してオーケストラ演奏が行われる

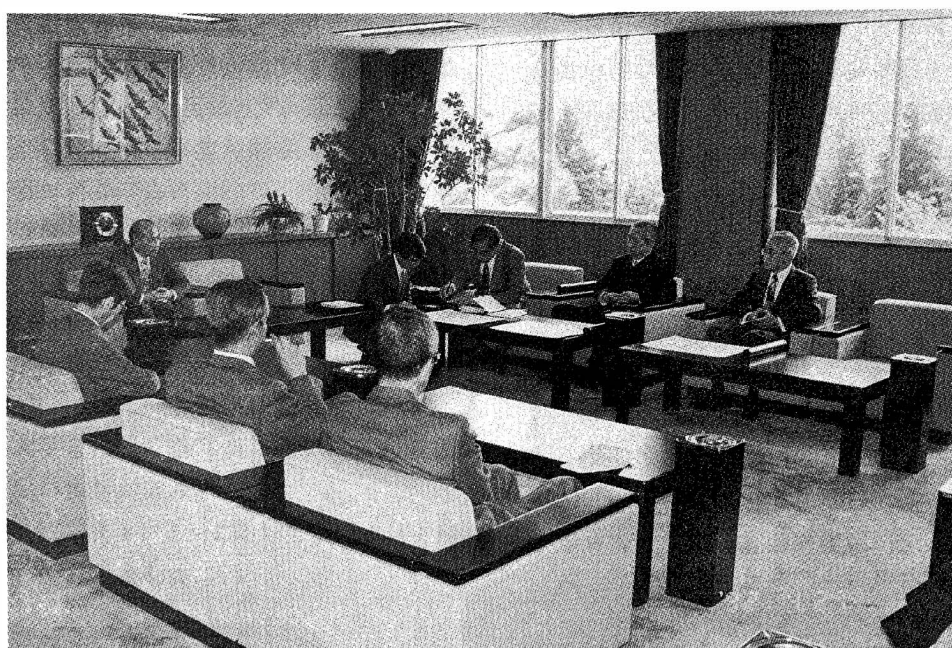
— 新たに3氏が本学名誉教授 —

名誉教授の称号記が授与される

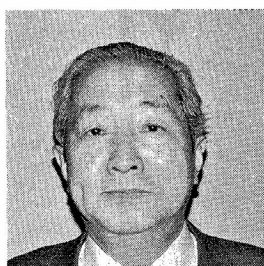
去る4月17日(金)開催の平成4年度第1回評議会において、本年3月末日をもって本学を退職された廣瀬禧七郎氏(元教育学部教授)、吉岡周明氏(元教育学部教授)及び鎌田邦夫氏(元教養部教授)の3氏を本学

名誉教授とすることが決定し、4月27日(月)小黒学長から称号記が授与されました。

以下、新名誉教授を紹介します。



▲ 称号記が授与された後、新名誉教授を囲んで懇談が行われる
(平成4. 4. 27 於：学長室)



名誉教授
廣 瀬 禧七郎
大阪大学工学部電気通信工
学科卒業

昭和25年3月大阪大学工学部を卒業後、同26年4月富山県立石動高等学校教諭に任ぜられ、その後、富山県内公立学校の教員を経て、同36年4月富山大学教育学部講師に採用され、同44年11月富山大学教育学部助教授、同57年2月富山大学教育学部教授に昇任し、平

成4年3月31日限り停年により退職されるまで、本学において31年の永きにわたり熱心に学生の教育・指導に専念されました。

一方、「技術科」の草創期から現在に至るまで円満な教科運営に尽力され、その礎を築かれた功績は大きく、研究面では、現在のエレクトロニクス技術にもつながる薄膜蒸着分野の研究を永年にわたり続けられ、一連の論文等で発表されました。また、SI理念に基づく単位系の導入を早くから教育面に取り入れられ、情報教育にも情熱を注がれ、同氏の誠実温厚な人格と相俟って多くの有為の人材育成に貢献されました。



名誉教授
吉岡 周 明
京都大学工学部機械工学科
卒業

昭和23年3月京都大学工学部を卒業後、同28年4月富山県立新湊高等学校教諭に任ぜられ、その後、富山県内公立学校の教員を経て、同35年1月富山大学教育学部講師に採用され、同40年8月富山大学教育学部助教授、同56年2月富山大学教育学部教授に昇任し、平成4年3月31日限り停年により退職され、32年の永きにわたり終始熱心に学生の教育・指導に専念され、教育者等多数の人材育成に貢献されました。

この間、昭和59年4月から同63年3月まで4年間教育学部附属中学校長を併任され、中学校教育の発展と教育学部の管理運営に寄与されました。

一方、研究面では、「機械」の教授として研究に従事し、「浮動プッシュジャーナル軸受の研究」など潤滑工学の分野における一連の研究成果を日本機械学会論文集などの学会誌に発表され、潤滑の学理の進展に寄与されました。また、日本産業技術教育学会北陸支部理事などを歴任して、産業技術教育の発展に貢献されました。



名誉教授
鎌田 邦 夫
大阪大学大学院経済学研究
科修士課程修了

同氏は、昭和31年9月大阪府立大学経済学部助手、同35年12月大阪府立大学経済学部講師を経て、同43年4月富山大学教養部助教授、同50年11月富山大学教養部教授に昇任され、平成4年3月31日退職されました。

この間、同氏は、本学において24年の永きにわたり経済学の教官として教育・研究に従事され、常に厳正な姿勢をもって学生の教育・指導に専念されるとともに、多数の有為な人材育成に貢献されました。

同氏は、貨幣的経済論のなかでも一貫して貨幣的生産経済の理論的・実証的研究をテーマとされ、経済の

実物面と貨幣面との接合（それらの相互作用）を肯定的に見る立場に立ち、その根拠を資本蓄積と利子率並びに経済体系のクローズ性に求め、独自の信用経済モデルを展開されるとともに、新たな金融政策論の在り方を究明されました。

一方、学内においては、本学の情報処理施設である計算機センターの運営委員会委員長を務めるなどその管理運営に参画し、本学の情報処理教育における学内共同利用施設としての充実発展に多大の貢献をされました。また、入学試験管理委員会委員など入学試験関係の委員を永く務め、特に、共通第1次学力試験が実施された当初から本学の入学者選抜方法研究委員会の専門委員として緻密な調査研究にたずさわって、本学の入学試験に大きく寄与されました。



本学地域共同研究センターに多額の寄附

株式会社別川製作所に紺綬褒章が授与される

— 4月20日、小黒学長から伝達 —

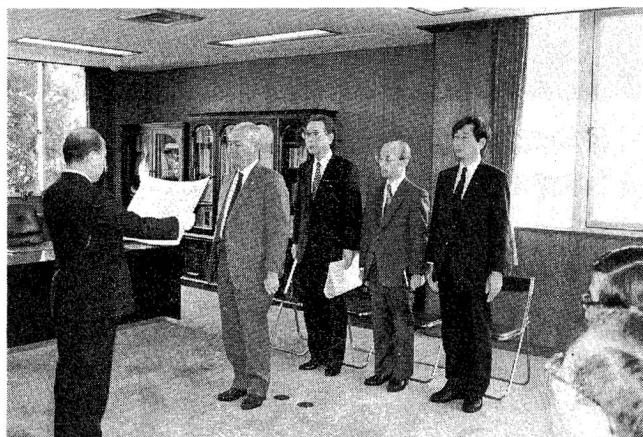
平成4年4月20日(月)学長室において、株式会社別川製作所代表取締役社長別川 献氏、小黒学長、龍山地域共同研究センター長、今田事務局長ほか関係者7名が出席の上、紺綬褒章の伝達式及び感謝状の贈呈式が行われました。

これは、このたび、株式会社別川製作所（本社：金沢市寺中町イ1番地）から、本学地域共同研究センターにおける工学研究の充実及び事業に対する助成を目的とした多額の寄附があり、これに対し、内閣総理大臣から紺綬褒章が授与され、学長から伝達されるとともに感謝状が贈られたものです。

また、小黒学長から、共同研究等を通じ産学の連携を推進している折、教育研究の発展に寄与するところ誠に大きく感謝申し上げたいとの挨拶があり、次いで、別川社長から、大学の発展に役立つことができ大変嬉しく思っている旨の挨拶がありました。

この後、地域共同研究センターにおいて龍山センター長からも感謝状が贈られました。

地域共同研究センターでは、この寄附金で「イオンミリング」及び「原子／ラジカルビーム発生装置」を購入し、新素材や電子デバイスの分野の共同研究等の充実を図るとともに、経営者研究者交流会をはじめとする産学官の連携推進事業に役立てることとされています。

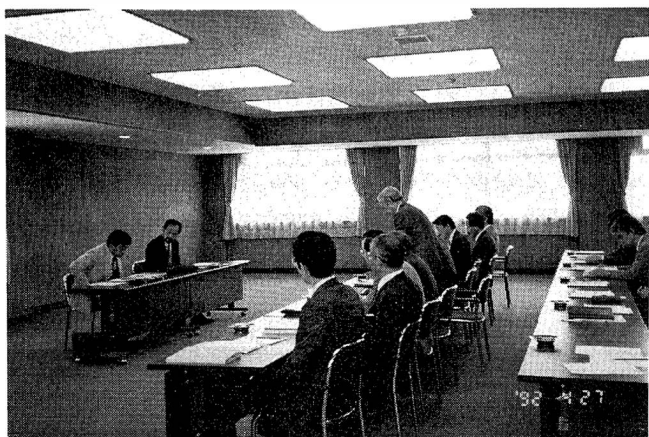


▲ 小黒学長から褒状を伝達される株式会社別川製作所別川 献代表取締役社長



▲ 褒状と感謝状を手にし関係者が記念撮影（前列中央が別川社長）

マレーシア工科大学副学長が来学される



▲ 学術交流協定締結に向けて話し合われる（工学部会議室）

去る4月27日(月)マレーシア工科大学副学長ムハマド・リズアン博士（通訳1名同行）が、同大学と本学との学術交流を推進する目的で来学されました。

始めに、小黒学長を表敬訪問され、学長室で今田事務局長、多々工学部長等を交え懇談されました。

引き続き、工学部大会議室において、多々工学部長、工学部評議員、龍山地域共同研究センター長及び工学部国際交流委員会委員と学術交流協定の締結に向けて、基本的事項を中心に種々意見交換が行われました。

マレーシア工科大学との交流は、本年2月21日(金)アブ・アザン・ヤシン同大学副学長が来学され、教官の交流等学術交流について話し合われたことを受けて、今回の話合いが持たれたもので、ムハマド・リズアン副学長から、マレーシアの工業の振興のため工業技術者の育成が必要とされている。また、教官等スタッフの充実を図るためにも、富山大学との学術交流協定を早急に結びたい旨要望が述べられました。

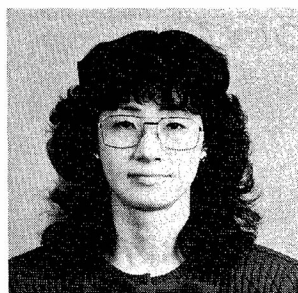
最後に同副学長は、出席者の案内で工学部及び地域共同研究センターの施設・設備を視察されました。



▲ 小黒学長を表敬して記念のスナップに納まるマレーシア工科大学ムハマド・リズアン副学長

平成4年度「とやま賞」に理学部小松助教授

— 贈呈式 5月8日(金) 於 高志会館 —



富山県の置県百年を記念し、富山県の出身又は在住の者で学術研究、芸術文化等の分野で優れた業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される人に贈られる「とやま賞」の平成4年度（第9回）受賞者の学術研究部

門で、理学部助教授小松美英子氏（形態学）が選ばれました。

贈呈式は、去る5月8日(金)高志会館で行われ、原谷置県百年記念財団理事長から、小松助教授ら6氏にそれぞれ賞状及び奨励金が贈られました。

同氏の受賞は、「ヒトデの個体発生及びその系統学的考察」の研究が高く評価されたことによるものです。

この研究で同氏は、約30種のヒトデについて、その発生（個体発生）を明らかにし、さらに、その観察過程で、新しい幼生型と卵胎生（ヒトデからヒトデの子供が産まれる）のヒトデを発見するとともに、特殊な発生段階（皺胞胚期）を確認されました。また、この結果と、それらのヒトデの分類学的位置（例えば、原始的なヒトデか高等なものか）との関連を比較・検討され、系統進化を解明されました。

このたびの受賞に際し、同氏は、「私の研究は、基礎科学の分野ですが、最近、社会のニーズに即応できる応用科学などが重宝されています。その中において基礎的な研究が理解され、受賞できたことは大変嬉しい。」と語っておられ、今後ますますの活躍が期待されます。

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採 用	4. 4. 13	多 胡 久		技術補佐員（経理部主計課）
	"	森 野 勇		"（"）
	"	平 井 徹		"（"）
	"	林 敏 和		事務補佐員（附属図書館）
	"	中 村 繁 之		"（"）
	"	高 越 義 一		"（"）
	"	杉 森 真希子		"（"）
	4. 4. 15	白 川 律 子		"（工学部）
	"	高 橋 志 保		"（"）
	"	藤 谷 しのぶ		"（地域共同研究センター）
	4. 4. 22	大 森 啓 美		"（附属図書館）
	4. 5. 1	西 浦 澄 子		臨時用務員（学生課作業員）
昇 任	4. 4. 10	加 藤 征 江	助教授（教育学部）	教 授（教育学部）
	4. 5. 1	長谷川 総一郎	"（"）	"（"）
	"	菅 谷 孝	"（理学部）	"（理学部）
死 亡	4. 4. 12	中 田 義 明	臨時用務員（学生課作業員）	死 亡（公務外）



平成4年度科学研究費補助金の交付の内定について

このたび、平成4年度科学研究費補助金の交付が内定されました。

本学における研究種目ごとの内定件数等は、以下の表のとおりですが、内定総数で平成3年度より11件採択数が増加しました。

研究種目	応募件数 ()内は内数で継続課題	内定件数 (継続課題を含む。)	採択率 (%)	平成3年度 当初内定件数
重点領域研究(1)	1	1	100	1
重点領域研究(2)	12	6	50	2
総合研究(A)	6(2)	3	50	1
一般研究(A)	1	0	0	0
一般研究(B)	21(4)	6	28.5	3
一般研究(C)	115(5)	21	18.2	19
奨励研究(A)	39	10	25.6	10
試験研究(B)(2)	7(1)	1	14.2	1
計	202(12)	48	23.7	37

※ この表の数字は、人事異動に係る転出、転入の調整を行っていないものである。

平成4年度科学研究費補助金交付内定者一覧

研究種目	研究代表者			研究課題	配分予定額(千円)		
	所属	職	氏名		平成4年度	平成5年度	平成6年度
重点領域研究(1)	教養部	教授	森 克徳	2-1-4系酸化物超伝導体の頂点酸素と熱伝導度の相関	1,800		

研究種目	研究代表者			研究課題	配分予定額(千円)		
	所属	職	氏名		平成4年度	平成5年度	平成6年度
重点領域研究(2)	教養部	教授	藤井 昭二	災害の進化	1,500		
"	理学部	助手	吉田 尚弘	生物と環境水の酸素同位体比の相関と変動	1,000		
"	人文学部	助教授	宇野 隆夫	電磁気調査及び古磁気による遺跡探査法の開発研究	4,400		
"	工学部	助教授	北野 博己	エバネセント波法による脂質膜界面における抗原抗体反応の速度論的研究	2,100		
"	理学部	教授	桜井 醇児	磁性金属人口格子の熱電能とその磁場効果	1,300		
"	理学部	教授	高木光司郎	高励起状態における星間分子の分光学的研究	27,100		
総合研究(A)	理学部	教授	広岡 公夫	新第三紀における日本島の古地理的変遷	7,300		
"	教養部	助教授	藤田 正春	外国人子女用日本語教材開発のための基礎的研究	3,000		
"	人文学部	教授	富田 正弘	古文書料紙原本にみる材質の地域的特質・時代的変遷に関する基礎的研究	9,100	4,000	3,000
一般研究(B)	理学部	教授	笹山 雄一	両生類のカルシトニンの生化学的、生理学的解明	900		
"	工学部	助教授	佐々木和男	線維芽細胞成長因子による本能及び情道行動、学習、老化制御機構	1,200		
"	工学部	助手	高橋 隆一	新しい磁気記録媒体の試作と特性	2,000		
"	工学部	助教授	北野 博己	コロイド粒子の認識応答過程に対する粒子表面水和層の影響に関するラマン分光学的研究	2,100		
"	教養部	教授	気賀澤保規	中国河北における刻経事業の総合的研究－房山雲居寺石経を中心に－	3,000	900	900
"	工学部	助教授	松木 賢司	高速超塑性アルミニウム-SiC粒子複合材料の開発に関する研究	5,500	900	
一般研究(C)	工学部	教授	坂井 純一	太陽フレアに伴う高エネルギー粒子加速機構の解明	200		
"	理学部	教授	桜井 醇児	電気抵抗の発散型温度変化を持つCe及びSm化合物の熱電能とその磁場変化	300		
"	理学部	助手	中村 省吾	クラミドモナスの鞭毛形態形成が異常な突然変異株の解析	600		
"	理学部	助教授	小松美英子	ヒトデにおける個体発生と系統との関係：下等な群、スナヒトデ属を用いての解析	500		
"	工学部	教授	塩澤 和章	セラミックス被覆膜の密着性及び強度評価に関する破壊力学的研究	400		
"	教育学部	教授	奥村 義雄	地方都市における階級・階層構造と社会的移動の実証的研究	2,100		

研究種目	研究代表者			研究課題	配分予定額(千円)		
	所属	職	氏名		平成4年度	平成5年度	平成6年度
一般研究(C)	人文学部	教授	藤本 幸夫	日本現存朝鮮古刊本の調査とその語学的・書誌学的研究	800		
"	人文学部	助教授	磯部 彰	近世における中国・朝鮮・日本三国の<西遊記>演劇の比較研究	1,100	500	
"	理学部	教授	渡辺 義之	リーマン等質空間上の対称変換と大域幾何学	1,000		
"	教養部	教授	中越 矩方	代数拡大体の乗法的構造の研究	900		
"	理学部	助教授	東川 和夫	不変計量による双曲型複素多様体の解析	2,000		
"	理学部	助教授	川崎 一朗	日本列島近辺のサイレント/スローアースクェイクの検出	1,100	500	
"	理学部	助教授	庄子 仁	ドームグリッパ雪水コアの力学試験	1,200	500	
"	理学部	助教授	金森 寛	バナジウム(Ⅲ)錯体の水溶液内配位構造とオキソ架橋二核錯体形成能	1,300	600	
"	教育学部	教授	相馬 恒雄	飛騨ナップの存在と移動時期の確定	900		
"	工学部	講師	丹保 豊和	Ⅲ-V族半導体とⅢ-VI族層状半導体のヘテロ界面形成とその物性	2,100		
"	工学部	教授	能登谷久公	炭化珪素粒子分散型アルミニウム合金の穴明け用多結晶ダイヤモンド工具の設計と製作	1,600	500	
"	教育学部	助教授	諸岡 晴美	高機能性を付与したパンティーストッキングの消費科学的研究	1,300	500	
一般研究(C)萌	人文学部	講師	岩井 瑞枝	フォンテーヌブロー派研究	800	400	
"	理学部	助教授	平山 実	量子群上のゲージ場の理論	600	600	600
"	工学部	助教授	吉村 敏章	硫黄窒素三重結合を持つ新しい化合物チアザイン類の合成と反応に関する研究	1,800		
"	工学部	助教授	松郷 誠一	長波長光照射により水酸ラジカルを発生する試薬の分子設計-光フェントン試薬の開発-	1,300	500	
奨励研究(A)	経済学部	講師	中村 博之	フレキシブル生産システムの計画と統制のための管理会計システム	700		
"	経済学部	講師	鈴木 基史	ディスクロージャーの拡大と増分情報内容の分析(キャッシュ・フロー情報を中心に)	900		
"	理学部	講師	藤田 安啓	確立論的手法によるVolterra型積分方程式の解析	1,000		
"	理学部	助手	大藤 茂	剪断変形時の岩石の不安定流動と微細構造の形成過程	1,000		
"	工学部	助手	星野 一宏	温度刺激応答型酵素の開発と固体バイオマスのエネルギー資源への連続変換における利用	900		

研究種目	研究代表者			研究課題	配分予定額(千円)		
	所属	職	氏名		平成4年度	平成5年度	平成6年度
奨励研究(A)	教養部	講師	鳥海 清司	Squat Jumpにおける膝関節のはたらきについての研究	700		
"	工学部	助手	小野 慎	β 構造形成ペプチドを固定化したクロマトグラフィー担体による分子認識	900		
奨励研究(A)萌	教育学部	助教授	河本 肇	セルフ・エフィカシーによる“あせり”の解消に関する臨床心理学的研究	600		
"	経済学部	講師	滝 敦弘	銀行による役員派遣の実証的研究(メインバンクの一側面の考察)	900		
"	工学部	助教授	宮本 真敏	開環重合による新規生分解性高分子の合成	800		
試験研究(B)(2)	工学部	助手	高橋 隆一	高品質薄膜形成用トロイダルプラズマ式スパッタ装置の開発	3,000		

平成4年度科学研究費補助金(国際学術研究)交付内定者一覧

種別	分野	研究代表者			研究課題	配分予定額(千円)		
		所属	職	氏名		平成4年度	平成5年度	平成6年度
学術調査	社会系	人文学部	助教授	末原 達郎	アフリカにおける食糧生産とその社会経済的背景に関する研究	6,500	6,000	6,000
"	理学系	理学部	教授	広岡 公夫	インド半島マハナディ地溝帯及びゴダバリ地溝帯の地史とプレートテクトニクスの研究	3,500	7,000	



平成4年度富山大学入学者数

(平4年4月10日現在)

(学 部)

学 部	学 科 (課 程)	入学者数	
人文学部	人 文 学 科	96	
	語 学 文 学 科	110	
	計	206	
教育学部	小学校教員養成課程	100	
	中学校教員養成課程	50	
	養護学校教員養成課程	20	
	幼稚園教員養成課程	30	
	情報教育課程	40	
	計	240	
経済学部	昼間主 コース	経済学科	161
		経営学科	136
		経営法学科	102
		小 計	399
	夜間主 コース	経済学科	20
		経営学科	21
		経営法学科	20
		小 計	61
		計	460
	理学部	数 学 科	53
物 理 学 科		47	
化 学 科		43	
生 物 学 科		45	
地 球 科 学 科		32	
計		220	
工学部	電子情報工学科	138	
	機械システム工学科	108	
	物質工学科	85	
	化学生物工学科	87	
	計	418	
合 計		1,544	

(専 攻 科)

専 攻 科	専 攻	入学者数
教育専攻科	教 育 専 攻	1
	計	1

(大 学 院)

研 究 科	専 攻	入学者数
人文科学研究科	日本・東洋文化専攻	7
	西 洋 文 化 専 攻	2
	計	9
経済学研究科	地域経済政策専攻	4
	企 業 経 営 専 攻	9
	計	13
理学研究科	数 学 専 攻	9
	物 理 学 専 攻	13
	化 学 専 攻	15
	生 物 学 専 攻	17
	地 球 科 学 専 攻	5
計	59	
工学研究科	電 気 工 学 専 攻	8
	工 業 化 学 専 攻	20
	金 属 工 学 専 攻	14
	機 械 工 学 専 攻	10
	生 産 機 械 工 学 専 攻	9
	化 学 工 学 専 攻	14
	電 子 工 学 専 攻	13
	計	88
合 計		169

合計 1,714名

(注)・人文学部には、外国人留学生1名を含む。

(人文学科1名)

・経済学部(昼)には、外国人留学生14名を含む。

(経済学科2名, 経営学科12名)

・工学部には、外国人留学生11名を含む。

(電子情報工学科4名, 機械システム工学科6名, 物質工学科1名)

・経済学研究科には、外国人留学生1名を含む。

(企業経営専攻1名)

・理学研究科には、外国人留学生2名を含む。

(物理学専攻1名, 化学専攻1名)

・工学研究科には、外国人留学生5名を含む。

(金属工学科1名, 生産機械工学科1名, 化学工学科1名, 電子工学科2名)

平成3年度卒業生の就職状況一覧表

○ 地域別就職状況 (平成4年5月1日現在)

学部	北海道		東北		関東		中部		近畿		中国		四国		九州		海外		計
	男	女	男	女	男	女	富山県	その他	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
人文学部	1	0	1	1	45	53	50	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	155
教育学部	0	3	1	18	134	46	120	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	207
経済学部	3	2	3	121	85	36	34	22	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	358
理学部	2	0	0	35	36	77	23	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	113
工学部	0	0	0	88	41	327	61	23	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	231
計	6	6	5	307	349	30.7	5.7	8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1,064
%	0.6	0.6	0.5	28.9	32.8	30.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	100.0

○ 業種別就職状況 (平成3年度)

業種	人文学部		教育学部		経済学部		理学部		工学部		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
農業・鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	1	3	4	11	0	11	0	0	4	4	17	6
製造業	3	23	26	87	14	101	33	21	54	182	309	80
卸売・小売業	6	16	22	40	9	49	0	0	0	2	48	30
金融・保険業	2	4	6	56	9	65	0	1	1	0	59	17
不動産業	0	3	3	1	0	1	0	0	0	0	1	3
運輸・通信業	2	1	3	8	0	8	0	0	0	6	18	2
電気・ガス・水道業	0	0	0	2	0	2	1	0	1	4	7	0
サービス業	12	47	59	60	29	89	37	7	44	23	139	114
教育	2	15	17	110	1	3	7	4	11	0	50	91
公務	5	10	15	24	4	29	1	0	1	2	37	35
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	33	122	155	291	67	358	79	34	113	223	685	379

関 係 法 令

(法律)

- 一般職の職員の給与等に関する法律及び行政機関の休日に関する法律の一部を改正する法律 (28) 4. 2
- 旅券法の一部を改正する法律 (35) 4. 24

(政令)

- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令 (95) 4. 1
- 一般職の職員の給与等に関する法律及び行政機関の休日に関する法律の一部を改正する法律の施行期日を定める政令 (105) 4. 6
- 行政機関職員定員令及び沖縄の復帰に伴う行政機関の職員の定員に関する法律の適用の特別措置に関する政令の一部を改正する政令 (108) 4. 10
- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令 (113) 4. 10
- 日本体育・学校健康センター法施行令の一部を改正する政令 (143) 4. 10

(府令)

- 政府職員の勤務時間に関する総理庁令の一部を改正する総理府令 (総理12) 4. 6

(省令)

- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 (文部8) 4. 1
- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令 (同9) 4. 1
- 教育公務員特例法施行令第1条の規定に基づき大学院に置かれる研究科の長を定める省令の一部を改正する省令 (同10) 4. 1
- 国立学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令 (同11) 4. 1
- 国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正する省令 (大蔵21) 4. 3

- 文部省定員規則の一部を改正する省令 (文部12) 4. 10
- 文部省設置法施行規則の一部を改正する省令 (同13) 4. 10
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 (同14) 4. 10
- 教育公務員特例法施行令第1条の規定に基づき大学院に置かれる研究科の長を定める省令の一部を改正する省令 (同15) 4. 10
- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令 (同16) 4. 10
- 日本体育・学校健康センター法施行規則の一部を改正する省令 (同17) 4. 10
- 大学共同利用機関組織運営規則の一部を改正する省令 (同19) 4. 15
- 国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令等の一部を改正する省令 (同20) 4. 15
- 日本育英会が学資の貸与を行う場合の認定の基準及び方法に関する省令の一部を改正する省令 (同21) 4. 23

(規則)

- 人事院規則9-1 (非常勤職員の給与)の一部を改正する人事院規則 (人事院9-1-8) 4. 1
- 人事院規則1-4 (現行の法律、命令及び規則の廃止)の一部を改正する人事院規則 (同1-4-11) 4. 6
- 人事院規則9-1 (非常勤職員の給与)の一部を改正する人事院規則 (同9-1-9) 4. 6
- 人事院規則9-15 (宿日直手当)の一部を改正する人事院規則 (同9-15-4) 4. 6
- 人事院規則9-24 (通勤手当)の一部を改正する人事院規則 (同9-24-6) 4. 6

○ 人事院規則15-1（職員の勤務時間等の基準）の一部を改正する人事院規則（人事院15-1-2）	4. 6	（告示）	
○ 人事院規則9-2（俸給表の適用範囲）の一部を改正する人事院規則（同9-2-15）	4. 10	○ 教育職員免許法施行規則第14条の2及び第17条の2の規定により，修得した単位を最低単位数に含めることができる短期大学の専攻科を定める件（文部38）	4. 1
○ 人事院規則9-30（特殊勤務手当）の一部を改正する人事院規則（同9-30-17）	4. 10	○ 大学の位置を変更する件（同42）	4. 3
○ 人事院規則16-0（職員の災害補償）の一部を改正する人事院規則（同16-0-12）	4. 10	○ 短期大学の位置を変更する件（同45）	4. 3
○ 人事院規則16-3（災害を受けた職員の福祉施設）の一部を改正する人事院規則（同16-3-15）	4. 10	○ 大学，短期大学，大学の学部，短期大学の学科，大学の学部の学科の設置を認可した件（同46）	4. 6
○ 人事院規則9-17（俸給の特別調整額）の一部を改正する人事院規則（同9-17-37）	4. 15	○ 大学院及び大学院の研究科の設置を認可した件（同47）	4. 6
○ 人事院規則15-1（職員の勤務時間等の基準）の一部を改正する人事院規則（同15-1-3）	4. 21	○ 短期大学の廃止を認可した件（同48）	4. 6
		○ 短期大学の学科及び高等専門学校を認可した件（同49）	4. 6
		○ 短期大学，短期大学の学科及び大学の学部の学科の廃止を認可した件（同50）	4. 6
		○ 短期大学の学科の廃止を認可した件（同51）	4. 6
		○ 著作権に関する講習会に関する件（文化庁3）	4. 27

諸 会 議

平成4年度第1回附属図書館商議会（4月14日）

（審議事項）

- (1) 完全週休2日制実施に伴う図書館の対応について

平成4年度第1回評議会（4月17日）

（審議事項）

- (1) 富山大学名誉教授称号授与について
- (2) 学生の除籍について
- (3) 富山大学学則の一部改正について
- (4) 大学教育改善検討委員会からの答申の対応等について（継続）
- (5) その他

第2回事務組織等検討委員会（4月17日）

（議 題）

- (1) 大学教育改善にかかる事務組織等の在り方について
- (2) その他

平成4年度第1回事務協議会（4月21日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について

平成4年度第1回放射性同位元素総合実験室運営委員会（4月21日）

（議 題）

- (1) 平成4年度総合実験室使用許可申請について
- (2) 平成3年度運営費決算及び平成4年度運営費予算（案）について

(3) その他

平成4年度第1回低温液化室運営委員会（4月23日）
（議 題）

- (1) 平成3年度低温液化室運営費決算について
- (2) 平成4年度低温液化室運営費予算（案）について

平成4年度第1回補導協議会（4月23日）
（審議事項）

- (1) 第37回大学祭について
- (2) 土曜閉庁に伴う課外活動施設等の使用について
- (3) その他

平成4年度第1回授業料等減免選考委員会（4月23日）
（議 題）

- (1) 平成4年度大学院入学生の入学料免除者の選考について
- (2) 平成4年度学部入学生の入学料免除者の選考について

平成4年度第1回大学教育改善検討委員会（4月25日）
（議 題）

- (1) 答申の具体化について

第3回事務組織等検討委員会（4月27日）
（議 題）

- (1) 大学教育改善にかかる事務組織等の在り方について
- (2) その他

平成4年度第2回附属図書館商議会（4月27日）
（審議事項）

- (1) 平成4年度附属図書館運営費について

第3回自己点検・評価に関する検討委員会（4月28日）
（議 題）

- (1) 本学の自己点検・評価の在り方(案)について
- (2) その他

学 内 規 則

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の改正理由

平成4年度に人文学部及び理学部の入学定員増が図られたことに伴い、所要事項を改める。

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成4年4月1日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和59年3月12日制定）の一部を次のように改正する。

別表第2を次のように改める。（別添のとおり）

附 則

- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 別表第2に定める収容定員は、同表の規定にかかわらず、平成4年度から平成6年度までは、次のとおりとする。

学 部	学 科 等	平成4年度	平成5年度	平成6年度
人文学部	人 文 学 科	380人	380人	380人
	語 学 文 学 科	395	410	425
	計	775	790	805
教育学部	小学校教員養成課程	400	400	400
	中学校教員養成課程	200	200	200
	養護学校教員養成課程	80	80	80
	幼稚園教員養成課程	120	120	120
	情報教育課程	160	160	160
	計	960	960	960
経済学部	経 済 学 科			
	昼間主コース	606	621	636
	夜間主コース	80	80	80
	経 営 学 科			
	昼間主コース	496	496	496
	夜間主コース	80	80	80
	経 営 法 学 科			
	昼間主コース	408	408	408
夜間主コース	80	80	80	
計	1,750	1,765	1,780	
理学部	数 学 科	192	202	212
	物 理 学 科	188	188	188
	化 学 科	172	172	172
	生 物 学 科	150	160	170
	地 球 科 学 科	128	128	128
	計	830	850	870
工学部	電子情報工学科	528	528	528
	機械システム工学科	303	404	404
	物質工学科	249	332	332
	化学生物工学科	258	344	344
	計	1,338	1,608	1,608
合 計		5,653	5,973	6,023

(別 添)

別表第2

学 部	学 科 等	入 学 定 員	収 容 定 員
人 文 学 科	人 文 学 科	95人	380人
	語 学 文 学 科	110	440
	計	205	820
教 育 学 部	小 学 校 教 員 養 成 課 程	100	400
	中 学 校 教 員 養 成 課 程	50	200
	養 護 学 校 教 員 養 成 課 程	20	80
	幼 稚 園 教 員 養 成 課 程	30	120
	情 報 教 育 課 程	40	160
	計	240	960
経 済 学 部	経 済 学 科		
	昼 間 主 コ ー ス	159	636
	夜 間 主 コ ー ス	20	80
	経 営 学 科		
	昼 間 主 コ ー ス	124	496
	夜 間 主 コ ー ス	20	80
	経 営 法 学 科		
	昼 間 主 コ ー ス	102	408
夜 間 主 コ ー ス	20	80	
計	445	1,780	
理 学 部	数 学 科	53	212
	物 理 学 科	47	188
	化 学 科	43	172
	生 物 学 科	45	180
	地 球 科 学 科	32	128
	計	220	880
工 学 部	電 子 情 報 工 学 科	132	528
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	101	404
	物 質 工 学 科	83	332
	化 学 生 物 工 学 科	86	344
	計	402	1,608
合 計		1,512	6,048

備考 経済学部の「昼間主コース」とは、主として昼間に授業を行うコースを「夜間主コース」とは、主として夜間に授業を行うコースをいう。

富山大学事務組織規則の一部改正

富山大学事務組織規則の改正理由

学生課に留学生係を設置し、教務係を学生課から入試課に組織変えることに伴い、所掌事務の範囲を見直し、事務の効率化を図るため、所要事項を改める。

富山大学事務組織規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成4年4月1日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学事務組織規則の一部を改正する規則

富山大学事務組織規則（昭和39年1月1日制定）の一部を次のように改正する。

第10条第1号中「補導及び教務」を「厚生補導」に改め、同条第3号中「指導監督」を「指導助言」に改め、同条中第4号を削り、第7号を第8号とし、第6号を第7号とし、第5号を第6号とし、第3号の次に次の2号を加える。

- (4) 外国人留学生に関すること。
- (5) 学生の外国留学に関すること。

第11条中第2号を削り、第3号を第2号とし、第4号を第3号とし、第5号を第4号とする。

同条第6号を次のように改める。

- (5) 寄宿舎の管理運営に関すること。

同条中第7号を第6号とし、第8号を削り、第9号を第7号とし、第10号を第8号とする。

第11条の2第1号中「入学者選抜」を「入学者選抜及び教務」に改め、同条第3号中「企画、立案」を「企画及び立案」に改める。

同条中第5号を第6号とし、第4号を第5号とし、第3号の次に次の1号を加える。

- (4) 学生の学籍その他記録に関すること。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

富山大学事務分掌内規の一部改正

富山大学事務分掌内規の改正理由

- 1 主計課に事務の効率化を図るため、専門職員を配置したことに伴い、所要事項を改める。
- 2 学生課に留学生係を設置し、教務係を学生課から入試課に組織変えることに伴い、学生部各係の事務分掌を見直し、事務の効率化を図るため、所要事項を改める。
- 3 教育学部附属学校第一係長を予算執行職員の補助者として指定するため、所要事項を改める。
- 4 工学部における科学研究費補助金及び委任経理金の事務を適正かつ効率的に処理するため、所要事項を改める。
- 5 附属図書館における図書館資料の管理等について一元化を図り、事務を円滑に処理するため、所要事項を改める。

富山大学事務分掌内規の一部を改正する内規を次のとおり制定する。

平成4年4月1日

富山大学事務局長 今 田 收

富山大学事務分掌内規の一部を改正する内規

富山大学事務分掌内規（昭和61年5月28日制定）の一部を次のように改正する。

第4条本文中「総務係」を「専門職員，総務係」に改め，同条総務係の項の前に次の1項を加える。

専門職員

- (1) 特定調達契約及び外国製機器契約に係る指導・助言に関すること。
- (2) 会計法規の解釈及び専門的事項に関すること。
- (3) 予算執行事務に係る監査・考査等に関すること。
- (4) 会計関係の訴訟に係る指導・助言に関すること。
- (5) 課の所掌事務の，上司の命を受けた事項に関すること。

第7条本文中「教務係」を「留学生係」に改め，同条総務係の項第1号を次のように改める。

- (1) 学生部の所掌事務に関し，連絡調整すること。
- 同条学生係の項第1号を次のように改める。
- (1) 学生の厚生補導に関し，総括し，連絡調整すること。

同条同項中第3号を削り，第4号を第3号とする。

同条同項第5号中「掲示，印刷物等」を「集会，掲示及び印刷物等」に改め，同号を第4号とする。

同条同項中第6号を第5号とし，第7号を第6号とし，第8号を第7号とし，同号の次に次の3号を加える。

- (8) 学生の表彰及び懲戒に関すること。
- (9) 学生補導に係る委員会等に関すること。
- (10) その他学生の厚生補導に関すること。

同条教務係の項を削り，学生係の項の次に次の1項を加える。

留学生係

- (1) 外国人留学生及び学生の外国留学に関し，総括し，連絡調整すること。
- (2) 外国人留学生の受入れに関すること。
- (3) 学生の外国留学に関すること。
- (4) 外国人留学生に係る各種行事に関すること。
- (5) 所掌事務に係る調査及び報告に関すること。
- (6) 留学生に係る委員会等に関すること。
- (7) 富山県留学生等交流推進会議に関すること。
- (8) その他外国人留学生に関すること。

第8条厚生寮務係の項中第3号及び第4号を削り，同条同項第2号中「学寮」を「寄宿舍」に改め，同号を第3号とする。

同条同項第1号を第2号とし，同号の前に次の1号を加える。

- (1) 学生の厚生福祉に関し，総括し，連絡調整すること。

同条同項第5号中「幹旋」を「あっせん」に改め，同号を第4号とする。

同条同項中第6号及び第7号を削り，第8号を第6号とし，第4号の次に次の1号を加える。

- (5) 学生の厚生施設及び寄宿舍に係る委員会等に関すること。

同条奨学係の項第1号を次のように改める。

- (1) 学生の奨学に関し，総括し，連絡調整すること。
- 同条同項第4号中「幹旋」を「あっせん」に改める。
- 同条同項第5号の次に次の3号を加える。
- (6) 所掌事務の調査統計に関すること。
- (7) 学生の奨学に係る委員会等に関すること。
- (8) その他学生の奨学に関すること。

同条保健係の項第1号を次のように改める。

- (1) 学生の保健及び衛生管理に関し，総括し，連絡調整すること。

同条同項中第3号を削り，第4号を第3号とし，第5号を第4号とし，第6号を第5号とし，同号の次に次の3号を加える。

- (6) 所掌事務の調査統計に関すること。
- (7) 学生の保健に係る委員会等に関すること。
- (8) その他学生の保健に関すること。

第8条の2本文中「入学試験係」を「入学試験係及び教務係」に，「，次の」を「，それぞれ次の」に改め，同条入学試験係の項第1号を次のように改める。

- (1) 入学者選抜事務に関し，総括し，連絡調整すること。

同条同項第6号を次のように改める。

- (7) その他入試課の所掌事務で，他の係に属しないこと。

同条同項第5号を第6号とする。

同条同項第4号中「調査，統計及び広報」を「調査統計」に改め，同号を第5号とする。

同条同項第3号を第4号とし，第2号の次に次の1号を加える。

- (3) 入学者選抜に係る広報に関すること。

同条同項の次に次の1項を加える。

教務係

- (1) 教務及び大学院学生の入学者選抜事務に関し，

総括し、連絡調整すること。

- (2) 教育課程に関すること。
- (3) 学生の入学、卒業その他学籍の異動に関すること。
- (4) 編入学等に関すること。
- (5) 聴講生及び研究生等に関すること。(学生課の所掌に属するものを除く。)
- (6) 大学院学生の入学者選抜試験に関すること。
- (7) 教務に係る委員会等に関すること。
- (8) その他教務に関すること。

第10条会計係の項第11号中「特殊教育就学奨励費交付金及び旅費等」を「旅費等」に改める。

同条附属学校第一係の項第19号中「事務」を「給付金の支払」に改め、同号を第22号とする。

同条同項中第9号から第19条までを3号ずつ繰り下げ、第8号を第10号とし、同号の次に次の1号を加える。

- (1) 特殊教育就学奨励交付金及び旅費等の支出負担行為に関すること。

同条同項中第5号から第7号までを2号ずつ繰り下げ、第4号を第5号とし、同号の次に次の1号を加える。

- (6) 物品及び役務等の支出負担行為に関すること。

同条同項中第3号を第4号とし、第2号を第3号とし、第1号の次に次の1号を加える。

- (2) 会計監査に関すること。

同条附属学校第二係の項に次の1号を加える。

- (20) 日本体育・学校保健センターの事務(附属学校第一係の所掌に属する事務を除く。)に関すること。

第12条専門職員の項中第5号を第6号とし、第4号の次に次の1号を加える。

- (5) 科学研究費補助金及び委任経理金の監査・考査等に関すること。

第14条受入係の項第3号及び第4号中「図書館資料(雑誌を除く。)」を「図書館資料」に改める。

同条整理係の項第1号中「図書館資料(雑誌を除く。)」を「図書館資料」に改め、同条同項第2号を削る。

同条同項第3号中「図書館資料(雑誌を除く。)の目録カード」を「図書館資料の目録データベース」に改め、同号を第2号とする。

同条同項第4号中「図書館資料(雑誌を除く。)」を「図書館資料」に改め、同号を第3号とし、同号の次に次の1号を加える。

- (4) 図書館資料の全国総合目録データベースの作成に関すること。

同条同項第5号中「図書館資料(雑誌を除く。)」を「図書館資料」に改める。

同条閲覧係の項中第7号を削り、第8号を第7号とする。

同条参考係の項中第4号を削り、第3号を第4号とし、第2号を第3号とし、第1号を第2号とし、同号の前に次の1号を加える。

- (1) 参考調査に関すること。

同条同項第5号中「図書館資料について」を「図書館資料」に改める。

同条同項中第6号を削り、第7号を第6号とし、第8号を削る。

同条学術情報係の項を次のように改める。

学術情報係

- (1) 図書館情報システムの管理に関すること。
- (2) 図書館の情報サービスに関すること。
- (3) 図書館業務の電算化に関する調査及び研究に関すること。
- (4) 図書館資料の冊子目録作成に関すること。
- (5) 学術情報の調査及び統計に関すること。

附 則

この内規は、平成4年4月1日から実施する。

富山大学物品管理事務取扱細則の一部改正

富山大学物品管理事務取扱細則の改正理由

物品管理事務の効率化を図るため、教育学部附属学校に分任物品出納官を設置することに伴い、所事項を改める。

富山大学物品管理事務取扱細則の一部を改正する細則を次のとおり制定する。

平成4年4月1日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学物品管理事務取扱細則の一部を改正する細則

富山大学物品管理事務取扱細則（昭和35年4月22日制定）の一部を次のように改正する。

別表第3の2中

「

部 局	分任物品出納官とする官職	分掌させる事務の範囲
附属図書館	閲 覧 係 長	附属図書館に属する図書館資料の出納及び保管に関する事務

」

を

「

部 局	分任物品出納官とする官職	分掌させる事務の範囲
教育学部	附属学校第一係長	附属学校に属する物品の出納及び保管に関する事務
附属図書館	閲 覧 係 長	附属図書館に属する図書館資料の出納及び保管に関する事務

」

に改める。

附 則

この細則は、平成4年4月1日から施行する。

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の改正理由

国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令（平成4年4月10日 文部省令第16号）の施行に伴い、所要事項を改める。

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成4年4月17日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和59年3月12日制定）の一部を次のように改正する。

別表第1 理学部の項中「△応用解析学及び電子計算

機論」を「△応用解析学及び電子計算機論
△情報数理」に改める。

附 則

この学則は、平成4年4月17日から施行し、平成4年4月10日から適用する。

富山大学当直規則の一部改正

富山大学当直規則の改正理由

一般職の職員の給与等に関する法律及び行政機関の休日に関する法律の一部を改正する法律（平成4年法律第28号）が施行され、土曜日が行政機関の休日となることに伴い、所要事項を改める。

富山大学当直規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成4年5月1日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学当直規則の一部を改正する規則

富山大学当直規則（昭和39年2月15日制定）の一部を次のように改正する。

第2条第1項第1号中「、日曜日」を「、日曜日、土曜日」に改める。

同条第1項第2号ただし書を削る。

同条に次の1項を加える。

2 前項の勤務時間により難しいときは、学長は、別に定めることができる。

附 則

この規則は、平成4年5月1日から施行する。

『平成4年度環境月間』

期 間

平成4年6月1日(月)～6月30日(火)

テーマ

“地球とはもっとなかよくなれるはず”

叙

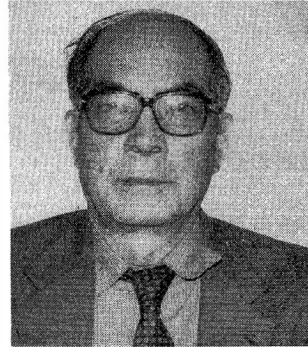
勲

平成4年春の叙勲が、去る4月29日付けで発表され、本学関係では次の方が受章されました。

名誉教授 植村元覺 勲二等瑞宝章
 名誉教授 岩淵富治 勲三等瑞宝章



植村名誉教授



岩淵名誉教授

学 位 取 得 者

取得者 水素同位体機能研究センター
 助手 蘆田 完
 学位の種類 工学博士（名古屋大学）
 取得年月日 平成4年3月9日
 学位論文名 核融合炉第一壁としての黒鉛材料と水素同位体の相互作用に関する研究

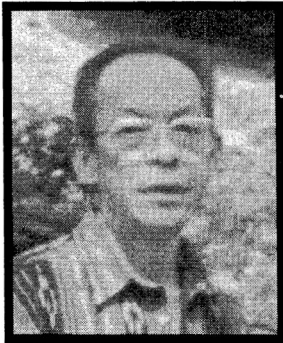
取得者 工学部 助手 吉田 正道
 学位の種類 工学博士（京都大学）
 取得年月日 平成4年3月23日
 学位論文名 乾燥速度特性関数に基づく速度相関と水分移動物性の決定

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
海外研修旅行	理学部	助教授	松島 房和	アメリカ合衆国	遠赤外分子分光及び分光装置制作に関する資料収集	4. 4. 29 } 4. 5. 6

訃 報

学生課臨時用務員 中田義明氏逝去



本学学生課臨時用務員中田義明氏は、平成4年4月3日から病氣療養中のところ、去る4月12日心不全のため御逝去されました。享年61歳。

同氏は、昭和61年6月に本学に奉職されて以来、職務に精励され、特に、学生会館では、迅速かつ適切な職務の遂行により、多くの教職員及び学生から慕われてまいりました。今後も本学のために大いに御尽力いただけるものと期待されていただけに、この御逝去が惜しまれてなりません。

ここに、同氏の御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

職 員 消 息

《新任者住所》

附属図書館

事務補佐員 高 越 義 一
(閲覧係)

事務補佐員 杉 森 真希子
(閲覧係)

事務補佐員 大 森 啓 美
(閲覧係)

《住所変更》

教育学部

教 授 松 井 政 明
(社会科教育)

助 教 授 廣 田 忍
(教育学)

講 師 向 後 千 春
(臨床心理学)

文部技官 奥田 都
(化学)

教養部
教授 氣賀澤 保規
(歴史学)

工学部
助教授 広瀬 貞樹
(基礎情報工学)

教授 奥貫 晴弘
(ドイツ語)

助手 佐山 三千雄
(生体分子化学)

お知らせ

平成4年度における「さわやか行政サービス運動」の推進について

政府「さわやか行政サービス推進協議会」では、昭和63年度以来「国民の立場に立った親切的な行政」, 「真心のこもった行政」の実現に向け、次の観点に立って「さわやか行政サービス運動」を推進しています。

さわやか行政サービスの観点

1. 分かりやすい行政サービス

- (1) 案内標識・案内表示等の整備
- (2) 申請書等記載事項・方法の明確化
- (3) 業務に関する情報提供

2. 便利な行政サービス

- (1) 窓口受付機能の拡大
- (2) 窓口事務の取扱い時間の改善(昼休み, 夜間等)
- (3) 申請等手続きの簡素化
- (4) 窓口環境の整備

3. 迅速な行政サービス

- (1) 事務処理に要する時間等の告知
- (2) 事務処理の迅速化・的確な対応

4. 清潔な行政サービス

- (1) 服装・身だしなみの清潔の保持
- (2) 窓口・待合室等の美化, 清潔の保持

5. 丁寧な行政サービス

- (1) 窓口・電話等における親切・丁寧な対応

6. 安全に配慮した行政サービス

- (1) 高齢者・障害者等に配慮した対応

7. 人間性に配慮した行政サービス

- (1) 高齢者・障害者・非喫煙者等に配慮した対応
- (2) プライバシーに配慮した対応

本学においても、標記運動を踏まえ、一層の改善に努められるよう御協力ください。

主 要 行 事

本 部

- 4月6日 部課長会議
 10日 平成4年度入学式
 教養部, 学生部・保健管理センター, 附属
 図書館オリエンテーション
 11日 学生団体オリエンテーション
 13日 各学部オリエンテーション
 16日 部課長会議
 17日 第1回評議会
 第1回部局長懇談会
 第2回事務組織等検討委員会
 20日 紺綬褒状並びに感謝状伝達式
 五福地区構内清掃
 21日 第1回事務協議会
 第1回入学者選抜方法研究専門委員会
 第1回放射性同位元素総合実験室運営委員会
 22日 国立大学協会第一常置委員会(於: 国立大学協会)
 23日 第1回授業料減免選考委員会
 第1回補導協議会
 学務関係係長会議
 第1回低温液化室運営委員会
 23~24日 第78回東海・北陸地区会計系部課長会議
 (於: 岐阜大学)
 25日 第1回大学教育改善検討委員会
 27日 名誉教授称号記授与式
 第3回事務組織等検討委員会
 27~28日 奨学事務協議会(於: 愛知県産業貿易館)
 28日 第3回自己点検・評価に関する検討委員会

人 文 学 部

- 4月3日 係長会議
 7日 学部教務委員会
 8日 教授会

- 10日 大学院人文科学研究科新入学生オリエンテーション・健康診断
 13日 新入生オリエンテーション・健康診断
 前学期授業開始
 学部教務委員会
 15日 学部将来計画委員会
 16日 係長会議
 20日 学部補導委員会
 22日 教授会
 教授会(人事)
 係長会議
 24日 職業補導委員会
 30日 学部図書委員会
 係長会議

教 育 学 部

- 4月2日 大学院設置準備委員会
 学部補導委員会
 3日 教授会
 学部教務委員会
 学部教務・補導合同委員会
 6日 授業開始
 附属小学校始業式
 7日 拡大学院部将来計画委員会
 附属小学校入学式
 附属中学校始業式
 8日 教授会
 人事教授会
 附属中学校入学式
 附属幼稚園始業式
 附属養護学校始業式
 9日 附属養護学校入学式
 10日 紀要編集委員会
 附属幼稚園入園式
 学部図書委員会
 13日 新入生オリエンテーション及び健康診断

学部留学生委員会
15日 入学者選抜方法検討委員会
健康診断
21日 拡大学部将来計画委員会
22日 教授会
学部教務委員会
学部補導委員会
23日 附属学校運営委員会
27日 学部予算委員会

経 済 学 部

4月1日 係長会議
学部補導委員会
8日 学部教務委員会
教授会
9日 大学院経済学研究科委員会小委員会
夜間主コース専門教育課程オリエンテーション
10日 夜間主コース新入生オリエンテーション
13日 経済学部授業開始
昼間主コース新入生オリエンテーション
新入生健康診断
15日 学部入学方法検討委員会
17日 大学院経済学研究科委員会
20日 大学院経済学研究科授業開始
係長会議
21日 大学院経済学研究科委員会小委員会
22日 学部教務委員会
人事教授会
教授会
大学院経済学研究科委員会
24日 学部補導委員会
27日 学部入学方法検討委員会
28日 係長会議
30日 学部教育改善検討委員会
学部等図書委員会

理 学 部

4月1日 教育改革等懇談会
3日 係長会議
7日 学部案内編纂委員会

8日 教授会
人事教授会
10日 教育問題等検討委員会
学科主任会議
13日 新入生オリエンテーション, 健康診断
15日 学科主任会議
大学院構想懇談会
学部将来計画委員会
16日 係長会議
21日 入試改善委員会
22日 学科主任会議
係長会議
23日 学部補導委員会
理学研究科専任教授委員会
30日 係長会議

工 学 部

4月1日 係長連絡会
2日 学部運営委員会
3日 学部入学試験検討委員会
6日 学部教務委員会
8日 教授会
工学研究科委員会
9日 学部教務委員会
10日 学部図書委員会
13日 入学生オリエンテーション
15日 授業開始
教授会
16日 学部拡大教務委員会
17日 技官連絡会
20日 学部施設整備委員会
22日 学部補導委員会
24日 学部国際交流委員会
27日 マレーシア工科大学副学長訪問
28日 学部入学試験検討委員会
学部運営委員会
30日 学部拡大教務委員会

教 養 部

4月2日 補導委員会
3日 教務委員会

人事教授会

教授会

8日 将来計画委員会

10日 教養部オリエンテーション

補導委員会

13日 前学期授業開始

夜間主コース前学期授業開始

教務委員会

将来計画委員会

14日 予算委員会

将来計画委員会

15日 教授会

22日 図書委員会

視聴覚教育委員会

将来計画委員会

27日 補導委員会

将来計画委員会

保健管理センター

4月13日 健康診断（新入生）

15日 健康診断（教育学部）

22日 健康診断（教養部）

附属図書館

4月14日 第1回附属図書館商議会

係長連絡会

15日 JOIS研修会

20日 係長連絡会

23日 富山県図書館協会代議員会（於：富山県民
会館）23～24日 第43回北信越地区国立大学図書館協議会
（於：福井厚生年金会館）

27日 第2回附属図書館商議会

水素同位体機能研究センター

4月20日 R・I特別健康診断

24日 R・I教育訓練

27日 第1回水素同位体機能研究センター専門委
員会

地域共同研究センター

4月20日 感謝状贈呈式

27日 マレーシア工科大学副学長視察

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話 (24) 175540